

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	までいタイムズ
支援対象者・エリア	福島県南相馬市小高区
企画開催地	小高交流センター
企画名称	“までい”なひとときを
実施期間	2021年12月18-19日、2022年3月25-26日

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

震災当時、パルシステムで“パラソルカフェ”という現地に行く募集を見つけ応募したのがこの活動のきっかけでした。そのときは残念ながら参加できませんでしたが、その後、現在のパル未来花基金が始まり、2015年から年2回のペースで、仮設住宅への訪問から始まりました。

震災直後、私達に何ができるだろうという他人事ではない強い思いがあり、活動当初の名称は「ホッとタイムインキャラバン」でした。オリジナル歌集を使いみんなで歌おう！、アロマでくつろごう！、フラワーアレンジで表現しよう！といったプログラムでした。その後、内容を少しずつ変えながら、団体名も「までいタイムズ」に変更しました。「までい」とは、福島の方言で「手間暇を惜しまず」「心を込めて」「丁寧に」「ゆっくり」といった意味があります。また、みなさんが仮設から復興住宅へ移られたため、小高区を拠点にし、訪問を続けました。ほかの地域への訪問はどうかと何度かスタッフとミーティングを重ねましたが、私たちの移動手段が限られていることや、一か所を中心に地道に活動の幅を広げていきたいということになり、現在に至っています。

実施プログラムはコロナ禍で変更せざるを得なくなり、食事を兼ねた交流会や、歌うことは中止しています。しかし、これまで続けてきている「輪っかちゃんワークショップ」は、コロナの影響も受けず、誰でも参加可能なため、毎回大好評となっています。参加者の中には、リピーターもおり、時間や数に制限なく、好きなだけ作成していただいています。お子さまには工作やお絵かき等の造形スペースを用意し、親子での参加も年々増えてきました。日頃忙しい中、束の間ですが、おしゃべりしながら、ゆっくりとした時間を過ごしてもらえるような場所を提供してきましたが、ようやく浸透してきたような実感があります。また、身体ほぐしの体操教室や、馬頭琴とアルトサクソによる演奏会も同時に開催し、アートに触れながら、心身ともにリフレッシュしてもらえるようなプログラムを展開しています。福島は音楽が盛んで吹奏楽をする子ども達もいるので、地域の方々とこのコラボ演奏会なども考えています。までいタイムズは五感をフルに使った、体験型プログラムとなっています。

私たちはゆっくり、丁寧に、これからもずっと被災地を忘れずに支援を続け、かけがえのない時間（タイム）を、皆さんと一緒に過ごしていきたいです。

活動の様子（写真など）

※別紙参照。

2021年度(12月&3月)

場所:小高交流センター 交流スペース&小高ハーブ園

木枠をつかったコースター作り “輪っかちゃんワークショップ”

初めてでも大丈夫!
丁寧に教えます。



地元の高校生
も参加してく
れました!

何度も足を運んでく
れるリピーターも!



感染症対策を徹底して開催!

消毒や検温、パーティションの設置



2021年度(12月&3月)

場所:小高交流センター 交流スペース&小高ハーブ園

ちいさな子たちのための
“造形&工作スペース”

みんな思い思いに、描いて、
切って、貼って、オリジナ
ルの作品を創っています。



3月

馬頭琴奏者とアルトサックスによる
“ミニ演奏会”

仙台在住の音楽家を呼んだミニコンサート「仙台からの贈り物」
①11:30(小高ハーブ園) / ②14:00(雨のため、双葉屋旅館にて)

